



6498

キッツ

～ニッポンの未来を豊かにする企業～

SMBC日興
IRフォーラム2018summer

KITZ

執行役員 経営企画本部長
栗原 等 氏

セミナー会場



～バルブの総合メーカー、キッツの強みと成長戦略～

キッツについて

● 社名の変遷

- ・1951年、創業者北澤利男が、山梨県北杜市にて北澤製作所を設立。1962年に株式会社北澤バルブ、1975年に株式会社北沢バルブに社名変更。1992年に現社名株式会社キッツとなる。

● キッツグループの事業展開

- ・主力は売上高の約8割を占める「バルブ事業」。
- ・上下水道・給湯・ガス・空調などのライフラインから、コンビナート、石油精製プラントや半導体などの産業分野まで、バルブの総合メーカーとして、幅広い分野に向けた多彩なバルブを製造・販売。

● キッツの強み

- ・自社内に鑄造設備を有し、素材選別から鑄造・加工・組立・検査まで一貫生産体制を確立。
- ・幅広い分野に約9万種類の製品を提供するバルブの総合メーカーであり、高い国内市場占有率を誇る。

第3期 中期経営計画（2016～2018年度）

● 重点市場分野に経営資源を集中

- ・「建築設備」「石油化学・一般化学」、「クリーンエネルギー」を重点市場分野と位置づけ、これらの分野に設備・研究開発投資を集中。
- ・戦略推進体制を強化、重点施策のPDCAを徹底。

● 2020年度に過去最高益を目指す

- ・2020年度に連結営業利益125億円の達成と2007年度の過去最高益116億円の更新を目指す。

● ROE8%以上を目指す

- ・グローバル調達・内製化・生産性向上等により、更なるコスト低減を図る。
- ・利益を生む設備投資を積極的に行う。
- ・利益とキャッシュフロー重視の方針を徹底することで、ROE8%以上を目指す。

成長の軌跡と成長戦略

● 世界有数のバルブメーカーに

- ・国内市場での大きな成長が見込まれない中、海外市場での拡大を推進。
- ・海外売上高においては、2001年度から2020年度までの20年間に約5倍の伸長を見込む。
- ・海外に生産子会社12社、販売子会社10社及び駐在員事務所2カ所を展開。
- ・グローバルコスト実現に向け、海外拠点強化、最適地生産体制を構築。
- ・世界有数のバルブメーカーとしての地位を確立。

● 2018年度計画を1年前倒しで達成

- ・2017年度は、2018年度に掲げた売上高・利益の数値目標を上回る業績となり、2018年度計画を1年前倒しで達成。
- ・2018年度、バルブ事業セグメントの売上高については、初の1,000億円超え（1,050億円）を、連結経常利益は過去最高となる109億円を目標に、経営計画達成を目指す。

株主還元への取り組み

● 配当方針

- ・配当性向の目標は25%。
- ・連結総還元性向の目標は、従来の3分の1前後から、自己株式取得に更に積極的に取り組み、一層の株主還元充実に努める。

● 配当と自社株買い

- ・2018年3月期：1株当たり17円。
- ・2019年3月期：同上19円を予定。
- ・2018年3月期：406万株の自社株買い、1,000万株の自社株消却を実施。
- ・2019年3月期：200万株を上限とする自社株買いを決定。

● 株主優待

- ・1,000株以上保有の株主様を対象に実施。
- ・オリジナルクオカード（1,000株以上は1,000円、2,000株以上は2,000円、3,000株以上は3,000円）、当グループ会社各種優待券の他、北澤美術館のカレンダー（ガラス工芸品）を進呈。